

水産情報工学グループ

主要業務

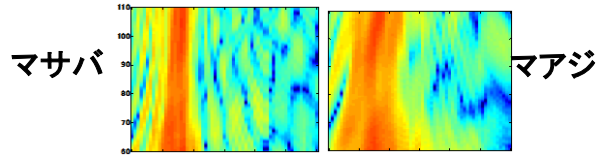
電子技術、情報処理技術等の手法による
水産生物の資源及び行動生態並びに海洋に係る
情報の収集及び解析に関する研究開発

次世代のための機器・手法開発

- (1) 大陸棚まで探査可能な低周波広帯域送受波器の設計・開発
- (2) 広帯域音響データを活用した魚種識別・体長推定手順の設計と実証試験



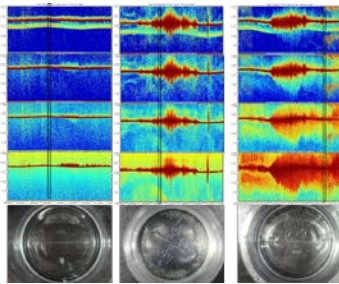
プロトタイプ機



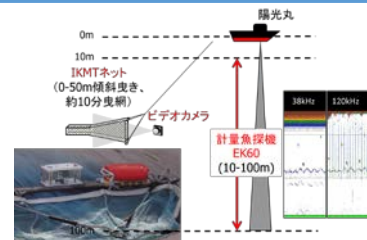
魚種間での音響的特徴の違い

現存量モニタリング調査の技術的サポート

- (1) 動物プランクトンの遠隔常時モニタリング
- (2) マルチビーム計量魚探による浮魚資源調査
- (3) 音響+ビデオカメラを用いた大型クラゲ調査
- (4) 天皇海山漁場における餌環境調査

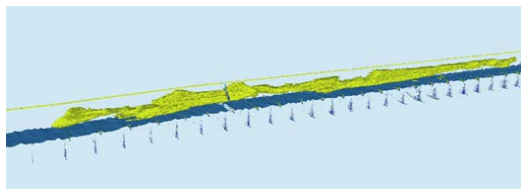


動物プランクトンの多周波音響計測

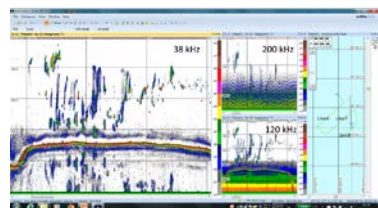


大型クラゲモニタリングの概念図

8/2 昼間, Line8, H10-H11



マルチビーム魚探で得られた
3次元魚群形状



海山に分布する餌生物の音響調査

水産有用種の現存量モニタリング対象の拡大
持続的な水産資源利用に貢献